

# 防災ひとくちメモ

## そろそろ冬への備えを

秋の深まりとともに、朝晩の冷え込みが厳しくなり、初霜や初氷などの便りも聞こえてくる季節となりました。この時期になると、西高東低の冬の気圧配置の日が多くなり、冷たい季節風が暖かい日本海を吹き抜ける際に海面から熱と水蒸気の補給を受けて、海上では発達した積雲の雲列（筋状雲）が形成されます。これが、日本海側を中心に降ったりやんだりを繰り返す雨（しぐれ）をもたらします。

上川・留萌地方では、季節の進行とともに降水種別はしだいに雨から雪に変わり、例年、11月上旬～中旬頃にかけて、地面が雪に白く覆われる「積雪」状態に、11月下旬～12月上旬頃にかけて、降った雪がとけずに積雪状態が継続する「長期積雪」（根雪）になります。

昨年の初雪観測は、羽幌や留萌で11月3日、旭川で11月4日と平年よりも冬の訪れは遅かったものの、上川北部や留萌北部では約1週間後の11月11日には30センチを超える日降雪量となりました。状況によっては、平地でもそのまま積雪状態になることもありますし、峠や山間部では平地よりも気温が低いため、

平地は雨でも、峠や山間部では路面が凍結したり、積雪状態となることがあります。天気予報や週間天気予報で雪の予報が発表されたら、車のタイヤ交換など早めに冬の備えを行いましょう。

気象台では、冬の始まりに峠や山間部で初めて積雪状態になるときや、平地で初めて積雪状態になると予想された時には、「雪に関する気象情報」を発表して積雪や路面の凍結による交通障害について注意を呼びかけています。また、気象庁ホームページの「今後の雪」では、1時間毎に推定した現在の積雪の深さと降雪量の分布、及び、6時間先までの予測を表示することができますので、天気予報や交通情報などと併せてご利用ください。



《気象庁 HP 「今後の雪」》

<https://www.jma.go.jp/bosai/snow/#zoom:7/lat:43.395740/lon:140.690198/colordepth:deep/elements:snowd>



### ◆お問い合わせ先◆

旭川地方気象台 ☎0166 (32) 7102  
<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html>



## 協力隊の任期を終えて

3年間の任期が過ぎ、9月末をもって天塩町地域おこし協力隊を退任することとなりました。着任した当時はコロナ禍の真っ只中で、まだオロロンラインの電光掲示板には札幌との往來を控えるような表示もあった頃でした。このような状況下で、町民の方々や他の自治体の協力隊と交流することがなかなか困難だったため、どのように活動していけばよいか最初は見通しが立ちにくかったのですが、徐々に制限が緩和されていくにつれて活動の機会も増えていきました。「天塩國狂言公演」や「しじみまつり」、「よみがえる思い出・天塩写真展」といった町内での行事や、札幌や本州でのPRイベントへの出展、町内の小・中・高等学校での活動など、当初想定していたよりもはるかに幅広い分野の活動に携わることができ、自身にとってたいへん貴重な経験となりました。

今後は、天塩町で地域振興に関わる活動を行っていくほか、12月に登録予定の中小企業診断士という国家資格を活かしながら道内で新規創業や事業承継のサポートを行う経験を積んでいき、将来的に天塩町の活性化・競争力向上に貢献できるようになりたいと考えています。10月から一人の町民として第二のふるさと・天塩町で暮らしていきますので、今後ともよろしくお願ひします。（野口）



▲札幌商工会議所で行われた新規創業相談の実習の様子